

2024年 おかげさまで76周年

会社案内

Corporate Profile



技術が翼

青木電器工業株式会社は1948年（昭和23年）に創業者青木神木（あおきさかき）が現在の当社の前身となる「株式会社ニチニチ電器製作所」を設立し懐中電灯及び自転車ランプの製造販売を開始し、おかげさまで2018年には70周年を迎えることができました。設立以降、懐中電灯をはじめ、乾電池使用機器、石油ストーブ、充電器、微生物水処理システムなど、様々な分野の事業に取り組んでまいりました。現在は1961年よりスタート致しました当社、主力事業である自動車機器関連のプレス板金事業及びステンレス製モール事業に全力を注いでおります。

創業以来、長年に培った経験と技術を継続的なカイゼン活動によりお客様、時代に求められるカタチに進化させるべく、社員全員で誠意をもって誇れる仕事を続けていく所存です。

2024年4月
青木電器工業株式会社
代表取締役
青木宏樹

会社概要

設立	昭和23年8月（創業：大正15年8月）		
資本金	31,149千円（払込済）		
所在地	埼玉県入間市狭山ヶ原字松原133番1号		
子会社	中華人民共和国 広東省東莞市塘厦鎮四村華豊路5号1棟301室		
主要得意先	AGC株式会社	株式会社エイチワン	クミ化成株式会社
	埼玉工業株式会社	三恵技研工業株式会社	株式会社ジーテクト
	株式会社タチエス	東プレ株式会社	日本板硝子株式会社
	ヒルタ工業株式会社	株式会社ファルテック	フタバ産業株式会社
	株式会社J-MAX	三井金属アクト株式会社	矢島工業株式会社
	YSタンク株式会社	株式会社ヨシカワ	株式会社ソーシン
（五十音順・敬称略）			

基本方針

明るい生活 一流の信用 誇れる製品

企業理念

わたし達はどのような時代においても、わたし達の仕事に関係する多くの人の『明るい生活』を実現することを目的とし、仕事を継続する上で関係する人達に製品を通じて安心感を提供し続けることにより『一流の信用』を頂くため、常に自信をもってお客様に提供できる『誇れる製品』をつくり続けます

従業員 心得

素直な心で みんなに学ぼう

社員マインド



青木電器は 心得 と マインド を軸に社員主導で強く明るく成長し続け 基本方針 を実現する

沿革

平成 27 年 (2016 年)	第二工機工場（ステンレスモール金型製作専用工場）新設
平成 26 年 (2014 年)	青木竹宏 代表取締役会長に就任、青木宏樹 代表取締役社長に就任
平成 24 年 (2012 年)	浦和工場を狭山工場へ移転 電源機器事業 撤退
平成 22 年 (2010 年)	中華人民共和国広東省に東莞青木電器有限公司を設立
平成 20 年 (2008 年)	北工場（ステンレスモール専用工場）新設。 環境事業をチッソ環境エンジニアリング株式会社に営業譲渡 本社登記を埼玉県入間市に変更 システムパーツ事業 撤退
平成 19 年 (2007 年)	生産本部を設置（事業部制を廃止）し、生産部門を一本化 応用機器事業（松下電池工業）撤退
平成 18 年 (2006 年)	本社機能を高田馬場から狭山工場に移転
平成 14 年 (2002 年)	ISO:9001 狭山工場 取得 ISO:14001 狭山工場 取得
平成 09 年 (1997 年)	懐中電灯、海外委託（インドネシア）生産開始
平成 05 年 (1993 年)	本社、本社工場を高田馬場へ移転
平成 02 年 (1990 年)	ISO: 9002 本社工場（電源装置）取得
昭和 63 年 (1988 年)	社長に青木竹宏就任
昭和 60 年 (1985 年)	狭山工場敷地を拡張、自動車部門専門工場を開設
昭和 59 年 (1984 年)	土壌微生物応用技術による環境事業（排水処理プラント事業）を開始
昭和 55 年 (1980 年)	エレクトロニクス分野に進出。生産開始
昭和 54 年 (1979 年)	埼玉県浦和市に自動車専門工場を新設
昭和 50 年 (1975 年)	National懐中電灯1億本生産達成
昭和 48 年 (1973 年)	創業者 青木神木（あおきさかき）社長逝去により社長に東國徳 （松下電器産業株式会社副社長）、副社長に青木竹宏が就任
昭和 47 年 (1972 年)	子会社である青木金属工業株式会社を吸収合併、金属事業を設立
昭和 43 年 (1968 年)	埼玉県入間市武蔵工業団地に埼玉工場（現本社・狭山工場）を建設
昭和 38 年 (1963 年)	子会社である株式会社市川製作所を青木金属工業株式会社に社名変更
昭和 36 年 (1961 年)	有限会社杉並鉄工を吸収合併。青木電器工業(株)鉄工部 （杉並工場）設立
昭和 35 年 (1960 年)	市川製作所より経営譲渡。自動車部品事業に着手。
昭和 27 年 (1952 年)	JIS 規格携帯電灯業界第1号表示認可工場となる
昭和 26 年 (1951 年)	社名を現在の青木電器工業株式会社に改称
昭和 25 年 (1950 年)	松下電器産業株式会社と提携。同社の専属工場としてNational 懐中電灯の製造を開始
昭和 23 年 (1948 年)	資本金 300 千円を以って株式会社ニチニチ電器製作所を設立。 『ニチニチ』懐中電灯及び、自転車ランプの製造販売を開始
大正 15 年 (1926 年)	金属雑貨「青木製作所」を設立。



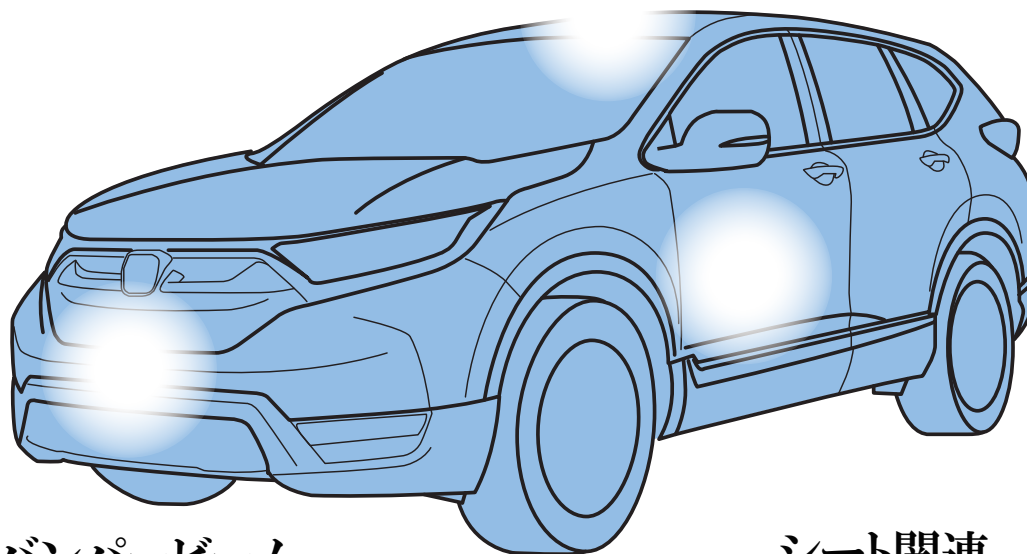
昭和 10 年 青木電器製作所製品



昭和 49 年 懐中電灯製造ライン

製品紹介

ルーフ周り
プレス板金部品

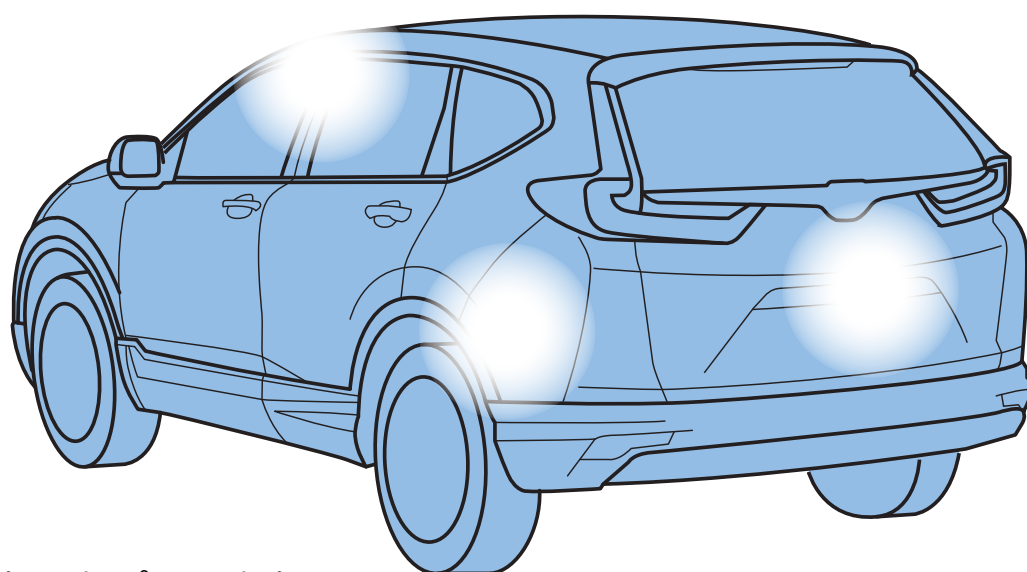


バンパービーム

シート関連

窓周りサッシュモール

リアゲート



タンクプロテクター

● 部門の特徴

当社では今までの機械的に品質を管理するクオリティコントロールではなく、全社員の品質管理に対する意識の徹底と様々な状況に応じた有機的なクオリティ・マネージメントを構築しています。真のクオリティ・マネージメントを実現するために必要不可欠な要素として品質管理があります。その基本はISO9001の規定に基づく、試作段階から製品出荷に至るまでの品質の保証です。

● 主要設備リスト

- ・デジタルマイクロスコープ VHX-2000
- ・3Dスキャナ型三次元測定機 VL-300
- ・押し込み試験機LCH-20KN
- ・加圧計
- ・電流計

※その他一般測定器多数あり



デジタルマイクロスコープ VHX-2000



3Dスキャナ型三次元測定機 VL-300

プレス部門

ハイテンション材加工のご要望にも対応

● 部門の特徴

プレス部門では800tをはじめとする順送プレス、フルオートメーション タンデムプレスライン(600t、400t×3台)などの設備を保有し、自動車のドア周り、ルーフ周り、バンパー周り、シート周りなど幅広い部位の部品の加工を行っております。

材料の板厚は0.5mm～6mmまで対応可能です。また高張力鋼板(ハイテン材)加工のご要望にもお応え致します。

● 主要設備リスト

- ・フルオートメーションTNDプレスライン : 600t－400t－400t－400t
- ・プログレッシブプレス : 800t、 600t、 400t
- ・トランスファープレス : 600t
- ・タンデムプレス : 200t × 4台、 150t × 1台、
110t × 1台、 80t × 1台



フルオートメーションTNDプレスライン
600t - 400t - 400t - 400t



600t PRG / 600t TRF



800t PRG



400t PRG

溶接部門

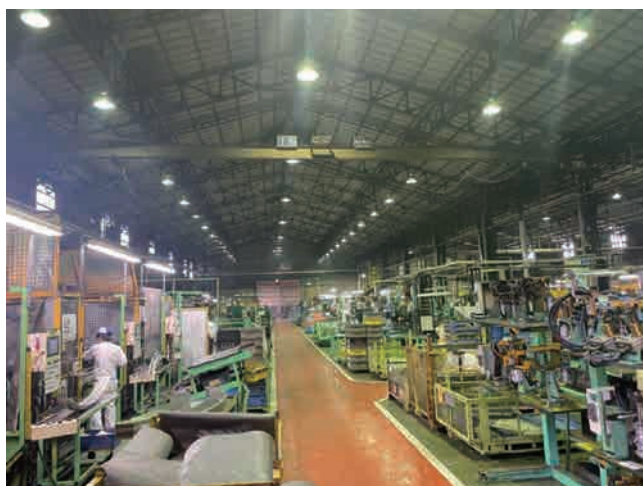
幅広い溶接のニーズにお応え出来る体制

● 部門の特徴

溶接部門では定置スポット溶接をはじめ、ロボットによるスポット溶接、MAG溶接などの設備を保有し、手のひらサイズの小さな部品から2mの大きな部品まで加工しております。材料の厚みに関しても0.5mm～6mmと幅広く対応しております。また高張力鋼板（ハイテン材）を使用する部品の溶接にも対応しております。プロ集団として品質を第一に、幅広くお客様のニーズにお応え出来る体制をとっております。

● 主要設備リスト

- ・定置スポット溶接機
- ・溶接ロボット(MAG用)
- ・溶接ロボット(スポット用)
- ・ハンドリングロボット



技術部門

開発・試作・量産までの一貫体制

● 部門の特徴

技術部門では、開発・試作・量産までの一貫体制と卓越された技術ノウハウにより、お客様のニーズにお応えしております。

加工技術においては、最新の3次元CAD／CAMデジタル技術と、長年の経験に培われた熟練の技術を融合させ高精度な金型の見込み加工や、溶接ロボットシステムの治具ユニットなど、高品質・高効率な生産設備の開発を実現して参りました。

またお客様に対しては、企画段階から参画させて頂きスムーズな開発・立ち上げにより、提案型企業として高い評価を頂いております。

● 主要設備リスト

・マシニングセンター

オークマ MILLAC-761V2、高速マシニングセンター三井精機VU65A
DVC R-DNC(リバース)

・ワイヤー放電加工機 三菱電機MV4800 他2台

・CAD／CAM

HYPER CAD、HYPER MILL、CATIA(V5R16)、SPACE-E V5
FAST BLANK(Ver.4.01)、CADMEISTER(Ver.2.0)

・トライプレス(200t、110t、80t)

・ダイスポッティングプレス(油圧500t)

・非接触型三次元測定機



モール部門 モールの生産に特化した専門工場

● 部門の特徴

自動車の窓周りに取付ける『モール』と言われる儀装部品の生産に特化した専門工場です。加工技術としては薄板ステンレスのプレス加工、及び、ロールフォーミング+樹脂一体成形加工、ベンダー曲げ加工と自動車のデザイン毎の多様な形状に幅広く対応致します。自動車のキャラクターを際立たせる部品として美しい外観部品として国内外に出荷し、高い評価を頂いております。

車両開発の企画段階から参画させて頂くことにより、高品質な外観が実現し、その品質を工程内で保証出来る提案をさせて頂きます。試作から金型製作、量産まで一貫した対応を致します。

● 主要設備リスト

- ・ 200 t ブランキングライン(サーボ) : 1台
- ・ 200 t ブランキングライン(メカ) : 1台
- ・ No.1 プレスライン : 200t、160t、110t × 3
- ・ No.2 プレスライン : 110t × 5
- ・ No.3 プレスライン : 200t × 3、110t × 2
- ・ No.4 プレスライン : 160t、110t × 2
- ・ ハンドリングロボット : 3台
- ・ ロール成型機(30段) : 1台
- ・ ワイドプレス : 6台



東莞青木電器有限公司

自動車の窓回りに取付ける『モール』と言われる艱装部品をメインに取り扱う専門商社です。製造部門を有しないファブレスメーカーとして、青木電器が独自に培った金型開発と加工技術のノウハウ等、豊富な実績を活かした金型開発・試作・量産までの一貫したマネジメントにより、お客様の様々なニーズとご要望にフレキシブルに対応できる体制を構築しています。

また、自動車デザインで重要な要素の一つであるサイドビューをより豪華にそして優美に演出する代表的な装飾品を総称し『モール』と言います。弊社は昭和のモータリゼーションの成長と進化の中で常にこの分野をリードし、特に近年はステンレスの光沢がより高品位になり、それを損なうことなく加工する事の技術を常に探求し、ものへの拘りを強く持ち、どんな難形状でも可能にするチャレンジ精神旺盛な企業です。そして、自動車デザインの無限な可能性を切り開く担い手になれる様 日夜研究を続けております。代表的な加工技術として、0.4～0.5mmの薄板ステンレスのプレス加工により、自動車のデザイン毎の多様な形状に必要な幅広い技術と生産設備を有しております。

現在、日本・中国のみならず、世界各国の自動車メーカーに採用して頂いており、高い評価を頂いております。

● 会社概要

設立： 2010年12月14日
資本金： US\$3,240,000
所在地： 広東省東莞市塘厦鎮四村華豊路5号1棟301室
企業形態： 商社(販売目的:自動車向けステンレス製外装部品・板金部品)

● 主要設備リスト

・プレス機 11台(100t、110t、80t) ・専用機 ・工作設備 ・クレーン

● 主要得意先

旭硝子汽車玻璃(中国)有限公司 … 中国国内向け販売先
旭硝子高技術設備(昆山)有限公司 … 輸出品販売先 泰国・英国・インドネシア
広州白木汽車零部件有限公司 … 中国国内向け販売先
広州市中新塑料有限公司 … 中国国内向け販売先
東莞井上建上汽車部件有限公司 … 中国国内向け販売先

● 生産委託先

旭天実業有限公司(その他、金型/板金プレス:3社)
中国広東省東莞市塘厦鎮四村華豊路5号



『明るい生活』とは

わたし達の家族を含め、経済的、精神的、身体的に安定感を得ることができ、公私ともに活き活きと出来る状況、状態のことです。

同時に我々がビジネスを継続する上で、お取引先や周辺地域の法人、個人の方々の明るい生活も常に考えることも含んでいます。

『一流の信用』とは

お客様に継続的に評価して頂いた結果得られるものです。そのためにわたし達は任せて頂いた仕事において安定的に安心を提供し続けていかなければなりません。

同時にお取引様にとっても常に安心してビジネスのできる相手である安心感を提供し続けなければなりません。

ビジネスにおいて全てのステークホルダーから良い会社として認めて頂いた結果が一流の信用です。

『誇れる製品』とは

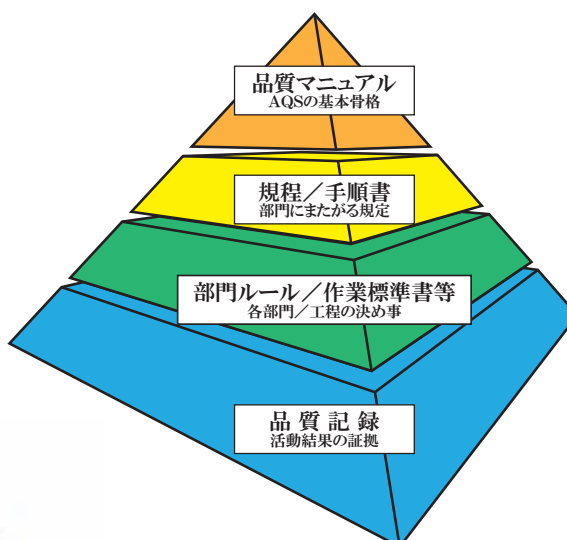
わたし達の会社において正しいプロセスを経てつくることにより、わたし達が心から自信をもってお客様にお届けする製品のことで。

■ 品質方針

品質保証体制を確立し、客先の満足する性能で安全性の保証を行い、信頼性の高い製品を最も経済的に生産し、経営の合理化をはかり社会に貢献する為に、品質管理の着実な実施と運営をはかる。

■ 品質マネジメントシステムの特徴

- ・リーダーシップの協調
- ・リスクに基づく考え方の導入
- ・組織の状況の理解と事業との関連付け
- ・利害関係者のニーズ期待の把握とそれに基づく適用
- ・リスク及び機会の明確化と取組みの計画
- ・QMS のパフォーマンスの改善



■ 品質マネジメントに関する7つの原則

1. 顧客重視
2. リーダーシップ
3. 人々の積極的参加
4. プロセスアプローチ
5. 改善
6. 客観的事実に基づく意思決定
7. 関係性管理

青木電器工業株式会社 環境方針

■ 環境方針

青木電器工業株式会社は自動車関係の金属プレス部品、車体部品の生産活動が主体である事を考え、「地球環境保全」が重要課題の一つであることを全員が認識し、間接的な環境負荷も考慮した全ての生産活動において環境との調和ある成長を目指しています。一方で当社を取り巻く事業環境は年々変化しており、地球環境への課題感は社会全体に、また当社の中でも大きくなっています。その中で、当社は事業活動、製品、又はサービスによる環境影響を与える項目に関して、環境マネジメントシステム(EMS)を事業運営の重要基盤の一つと定め、「継続的な改善」を実施し環境パフォーマンスの向上を図ります。

以上の行動を誓約する。

- ① 環境関連法規・規制・協定を遵守し、また利害関係者の要請に応えるべく一層の環境保全に取り組みます。
- ② 組織の活動・製品・サービスに関わる分野において、汚染の予防や資源の効率的な使用を推進します。
- ③ 環境目的及び目標を設定し、これを実行・見直すことでエネルギーや資源を重視した継続的改善を行い、環境パフォーマンスの向上を目指します。
- ④ 環境関連教育を行い、環境の大切さを理解し、環境保全意識の向上を図ります。

この環境方針は全従業員に周知すると共に、社内外へ開示いたします。



LAYOUT CHART



青木電器工業株式会社

AOKI ELECTRIC INDUSTRIAL Co.,Ltd.

埼玉県入間市狭山ヶ原字松原 133 番 1 号

TEL: 04-2934-1201 (代表)

FAX: 04-2934-1420

www.aokielectric.co.jp





青木電器工業株式会社
AOKI ELECTRIC INDUSTRIAL Co.,Ltd.